

昭和医科大学（旗の台キャンパス）

学生相談室だより No.126(2025年度2~3月号)



## 「道の曲がり角」

昨年末、3号館で「お屠蘇に使われる生薬の展示」がありました。さらに、「それぞれの生薬を自分の好みで配合して“オリジナルのお屠蘇”が作れる」とのこと。お屠蘇というと、「年の瀬に薬局のレジ横に売っている」、「苦い」イメージでした。「行ってみたい！」と心が踊りました。ところが時間に追われ展示コーナーに行けません。「今日はやっと行ける」と思えば、棟を間違える…。年内最終日、どうにか3号館の展示コーナーに辿り着きました。「お屠蘇の中身を初めて見た」、「サフランって生薬だったんだ」と楽しみ、喜んでお茶パックに生薬を詰めて帰りました。10分程度の短い時間とはいえ、師走の張りつめた中、ほっとするひと時でした。お正月には初めてお屠蘇を作りました。手作りのお屠蘇は甘くて香り高いものでした。味は養命酒に似ています。日々が経つとまろやかになることも興味深かったです。展示コーナーに辿り着くのに思いのほか回り道をしましたが、喜びはひとしおでした。

悲しい事や辛いこと、上手くいかなくて苦しい事は多くの人に日々訪れます。「いつかは乗り越えられる」と頭で知っていても、いつまでも続くような気がするかもしれません。そんな時には、「誰かに話してみる」、「小さな楽しみを見出す」、「一息つく」など「まっすぐ突き進む」以外の方法があることを思い出していただければと思います。モンゴメリ作「赤毛のアン」に『今、その道は、曲がり角に来たのよ。(中略)



発行日：2026年2月1日

発行者：昭和医科大学学生課 TEL 03-3784-8024

学生相談室 TEL 03-3784-8285

曲がった先に、道はどう続していくのかしら』という一節があります。一見回り道や無駄をしたように見えても、悩み、普段見ない自分の心の中を覗き見ることで、急いでいては見えない景色に気が付けるかもしれません。夢、カウンセリング、いつも通らない小道に迷い込むなど、目立たないものが何かに気づくきっかけになることがあります。皆さん自分らしさを大切に、毎日を擦り切らせないために、「こんなことで話に行っていいのかな」と遠慮せずに、気軽に学生相談室でお話にきてくださいね。

引用：モンゴメリ著 松本侑子新訳「赤毛のアン」(文春文庫)

★春休み中も学生相談室は開室しています。

★オンライン（Google Meet）でも相談できます。

★休学中でも利用できます。



(大河原)

### 2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

### 3月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				